

知ってほしい！

高速道路のパーキングエリアの隣に
地域振興施設（道の駅）の整備を計画中です！

行方市地域振興施設（道の駅）整備事業

？ 地域振興施設（道の駅）整備事業ってなに？

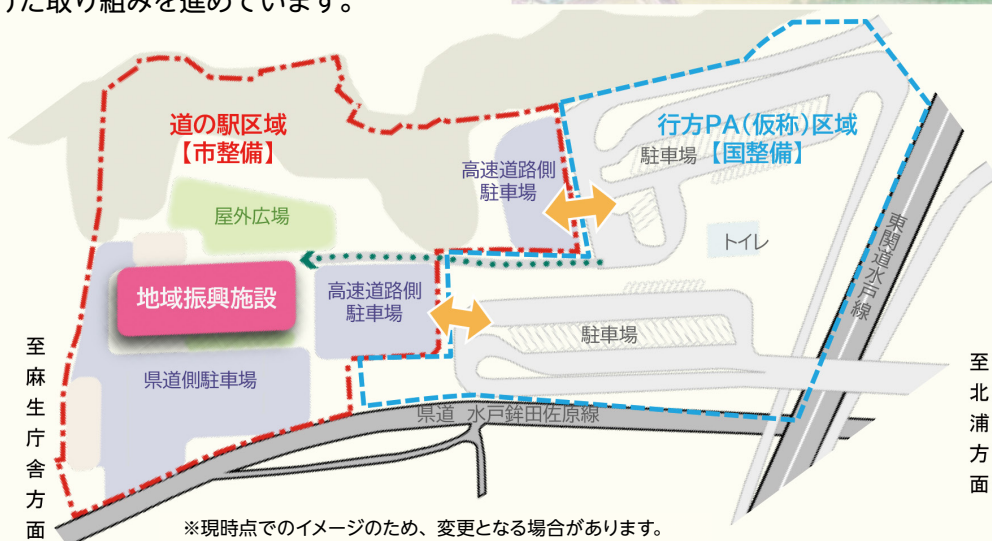
東関東自動車道の「行方パーキングエリア（仮称）」の整備に併せて、高速道路と一般道のどちらからも利用できる地域振興施設を整備する事業です。

休憩施設としてだけでなく、地域の情報発信や防災拠点としての機能も備え、地域の活性化を図るとともに、市民の安全・安心な生活に寄与することを目的に、令和5年度から整備に向けた取り組みを進めています。



※イメージパース

施設を
イメージ
してみよう



※現時点でのイメージのため、変更となる場合があります。

🎯 これまでにこんなことを行ってきました！

令和5年

- 7月 国が行方PA（仮称）設置位置を公表
- 9月 国との共催で、市民を対象とした事業説明会を開催



令和7年

- 3月 基本計画を策定（整備方針、施設規模などを決定）
- 9月 地形、用地の測量を実施
- 10月 関係する地権者を対象とした事業説明会を開催



令和6年

- 3月 基本構想を策定（目的・コンセプト候補地を決定）



令和8年

- 2月 用地測量業務に伴う境界立会を実施



🌟 どんな効果があるの？

行方パーキングエリア（仮称）の隣に整備することで、いろいろな効果が期待できます！



幅広いエリアからの 集客・交流で賑わいがアップ！

県内初の PA 直結型道の駅として一般道と高速道路の双方から利用者が見込め、北関東・首都圏からの集客・交流が期待できます！



地域ブランディングや 認知度向上に期待！

豊富な農産物など、行方市のさまざまな地域資源のショールームとして魅力を発信し、認知度やブランディングなどの醸成が期待できます！



交通の中心的な場所として 将来への可能性に期待！

将来的には、高速バスの停留所の設置等も検討しており、交通結節点としての役割を担うことで、さらなる人流の増加、にぎわい醸成が期待できます！



📈 どのくらい利用や売上があるの？

1年間の想定利用者
約 50 万人



※一般道と高速道路の計画交通量から算出



1人あたりの
平均売上高

※他の道の駅の実績
に基づく参考



1年間の
想定売上額
約 3～4 億円

🏗️ これから、どうやって進めるの？

- | | |
|------------|--|
| 令和 8～9 年度 | 運営する事業者や詳細な設計をする事業者を決めます。 |
| 令和 9～13 年度 | 施設の詳細な設計や必要な土地の取得、土地の形状を備えるための造成工事などを行います。 |
| 令和 14 年度～ | 建物や外構、駐車場などの工事を行います。 |
| 令和 15 年度～ | 施設の運営を開始するための準備を行います。 |
| 令和 16 年度～ | 開業予定 |



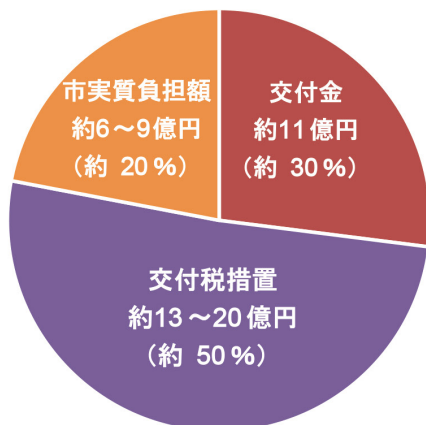
📊 整備するのにどのくらいお金がかかるの？

必要な土地の取得や建物などの工事を行うには、約 30～40 億円の費用が必要になると想定されます。そのうち、国の交付金や起債などを活用することで、市の実質負担額は、約 6～9 億円（総事業費の約 2 割）となることが想定されます。

※現時点での想定面積と過去に県内で整備された道の駅の整備単価から算出した概算事業費であり、実際の事業費とは異なります。



概算事業費：約 30～40 億円



こんな交付金や起債を活用します

- 地域未来交付金（内閣府）
- 農山漁村振興交付金（農林水産省）
- 社会資本整備総合交付金（国土交通省）
- 過疎対策事業債



これからの方針について

施設の詳細な設計を行う際に、市の負担額を極力軽減できるように努めるとともに、今後も引き続き事業の説明会などを開催し、行政と市民が一体となって事業を進めていくように努めていきます。

